

平成23年度「学校評価」

学校教育目標

- I 一人ひとりに応じた学力をつける
 - (1) 基礎基本の徹底
 - (2) 指導方法の工夫
 - (3) 話す力・読む力の重視
 - (4) 受験学力の向上
- II 個性を大切に「創造性」を培う
 - (1) 進路を意識した学校生活の充実
 - (2) 基本的な生活習慣の確立
 - (3) 健康な心身の育成
 - (4) 一人ひとりの生徒との対話の重
- III 開かれた学校づくりを進める
 - (1) 授業の公開
 - (2) 学校評議員制度の活用
 - (3) 外部講師の活用

平成23年度の重点目標

- ① 基礎基本の定着と応用力を身につけるための個に応じた指導・相談体制を築く
- ② 自らの判断と行動により充実した学校生活を創り出し、自らの力で自己実現ができるよう支援する
- ③ 地域や各教育機関との連携を密接にし、積極的な広報活動を行う

総合評価

成果と課題	評価 A・B・C・D	改善策・向上策

学校関係者評価

総評

評価・ご意見

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	評価	改善策・向上策
教育活動	教育課程	① 学習集団の編成	・学力に応じた学習集団の編成ができたか。			
		① 特色ある教育課程の編成	・生徒の進路希望に応じた講座編成ができたか。 ・「総合的な学習の時間」の内容の充実が図れたか。			
	学習指導	① 授業の工夫・改善	・分かりやすい授業が実現できたか。			
			・生徒による授業評価に基づいて授業改善が図られたか。			
			・授業を互いに見合う機会を持てたか。			
		① 個に応じた指導	・ドリル学習が有効的に機能したか。			
			・個々の生徒の状況を把握した上で補習授業及び個別指導の充実が図られたか。			
			① 体験的学習の充実			
	① 読書活動の活発化	・図書館の利用数が増えたか。				
	①② 資格取得の推進	・各種検定受験者数が前年度より増加したか。				
	生徒指導	② 職員間の意識の統一	・生徒指導の方針を全職員に周知できたか。			
		② 生徒が安心して学べる環境づくり	・暴力、威圧、いじめを予防できたか。			
		② 家庭との連携	・家庭と連携しながら指導できたか。			
		② 生徒との対話	・生徒との対話を重視した指導ができたか。			
進路指導	①② キャリア教育の推進	・将来を見据えて進路選択ができる力がついてきたか。				
	①② 進路目標の確立と進路実現	・生徒一人ひとりが進路目標を持ち、自己の課題に意欲的に取り組むよう指導できたか。				
地域連携	③ 授業公開	・公開方法を工夫することができたか。				
	③ 広報活動	・フォトニュース発行12回以上、学校案内パンフレット作成、中学生にも分かりやすいHPづくり等の工夫が継続できたか。				
	③ 大学との連携	・県内大学に進学した卒業生を招いて在校生が話を聞く機会を設定できたか。				
研修	①② 職員研修の充実	・職員研修会の機会を設定できたか。				